

沼津市青少年教育センター

たより

平成28年4月号 No. 515

〒410-0881 沼津市八幡町97番地 ☎(055)951-3440 FAX(055)952-3300

『お気に入り』に出会う登下校

教育長 服部裕美子

満開の桜に彩られ、新年度が始まりました。今までと同じ街並みであるのに、あちらこちらで景色が生まれ変わるような何とも言えない不思議な感覚に包まれます。少し大きめの真新しい制服姿の中学生や高校生、ランドセルが一際目立つ1年生。それぞれに進級した子どもたちの表情も、まぶしく感じられます。そんな子どもたちの姿を眺めていると、毎日の登下校が安全で楽しい道のりであるようにと願わずにはいられません。時には足取りが重くなることもあるかもしれませんが、そんな時にも、自分を勇気づけてくれる景色や心を休めることができる場所を見つけ、一息ついて元気に通学できたらいいなあと、ふと、ある下校時の一場面を思い出しました。

夏休み前の集団下校に付き添い、木負・河内方面に下校する子どもたちと一緒に歩いた時のことです。久連で小休憩をし、木負に続く上り坂を歩き始めるとまもなく、それまで疲れた足取りで最後を歩いていたA君が坂を駆け上って振り返り、「ここから見える学校が、いちばんさあ。」と、うれしそうに「自慢の景色」を私に教えてくれたのです。それは、駿河湾越しにそびえる富士山と蜜柑畑の彼方に白い校舎と一緒に浮かび上がる素敵な眺めでした。1時間かけて歩く通学路の「お気に入り」の風景は、6年間、何度もA君の心を癒やし励ましてくれたことでしょう。

どの子にも自分を励ましてくれる大好きな風景があったら、何て素敵なことだろうと思います。

岡宮の家から40分もかけて学校に通うB君は、「遠いけれど、いいこともあるんだよ。」と、家の近くにある、夕日がきれいに見える「高台」に案内してくれました。浮島の通学路では、数珠玉や冷たい湧き水に出会う場所を子どもたちが教えてくれました。

「お気に入り」の風景…それは、必ずしも大自然の眺めだけではなく、近隣の家の庭先に咲く花や飼い犬であったり、道ばたの草や虫だったり、大人にとっては「小さな景色」であるかもしれません。しかし、そこに立ち止まる時間は、子どもたちの感性を高め、豊かな心を育む力をもっているのだと思います。そして、子どもたちの大好きな風景は、いつも子どもたちの登下校を温かく見届けてくださる多くの方々に守られています。毎日「おはよう。」「おかえり。」と声をかけたり、交通指導や安全パトロールをしてくださったり、時には話し相手になったりお世話をしてくださったり……。

大好きな風景に出会い、楽しい時間をもつこと、人と関わり合う時間は、豊かな心を育ててくれます。新たな道を歩き始める子どもたちが、自分を見守ってくださる多くの方と出会い、安心して大好きな風景にたくさん出会えることを願っています。

最後になりましたが、日頃お忙しい中で、青少年健全育成に関わってくださる多くの方々に感謝申し上げますとともに、今後ともご協力をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

平成28年度青少年教育センターの活動

沼津市青少年教育センターは、平成28年度も引き続き、青少年健全育成のための次のような活動を実施していきます。

1 方針

青少年をめぐる諸問題に対処するため、家庭をはじめとして地域・学校・警察他関係機関との連携の下に、補導・教育相談・研修活動を通じて、青少年の健全育成に努めます。

2 活動内容

(1) 補導

補導活動

中央補導と地区補導の活動の充実を図るとともに、夏まつり・県内一斉等の特別補導を行い、商業店舗補導連絡会を開催して青少年非行の未然防止に努めます。

環境浄化活動

高校生参加による落書き消しを行い、意識啓発を強化するとともに、「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」を行い、地域ぐるみの有害環境浄化活動を推進します。

広報・啓発活動

青少年教育センター「たより」と年報である「ねんりん」を編集・発行するとともに、「青少年の非行・被害防止街頭キャンペーン」を実施します。



(2) 教育相談

面接相談

不登校・発達などに関する相談全般について、面接による相談に応じます。

電話相談（やまびこ電話）

青少年に関する相談全般について、電話による相談に応じます。

体験活動「はばたき」

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒のための体験活動を実施します。

相談指導学級

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒の内、沼津市教育委員会が認めた児童生徒が通級します。

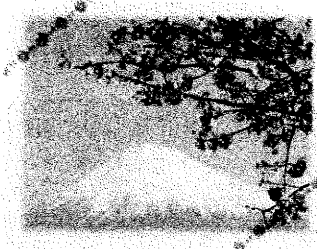
青少年健全育成地域相談員

各地域にいる相談員が、地域の青少年健全育成活動への援助と相談を行います。

(3) 研修

教職員研修センターが主催する「若手教員研修」のうちの相談指導学級における体験研修を実施します。

面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など
 青少年に関する面接相談。
 ◎相談および申し込み受付時間：
 午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎相談申し込み：Tel 951-3440

平成28年1月・2月・3月の状況

1・2・3月には新たに申込みがあった9件（1月7件、2月2件、3月0件）
 を含め、54件（延べ相談回数310回）の相談に応じました。

1 相談内容別新規相談件数

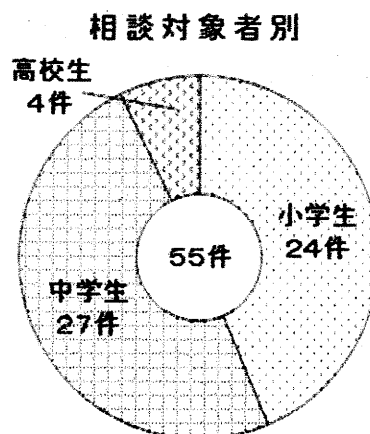
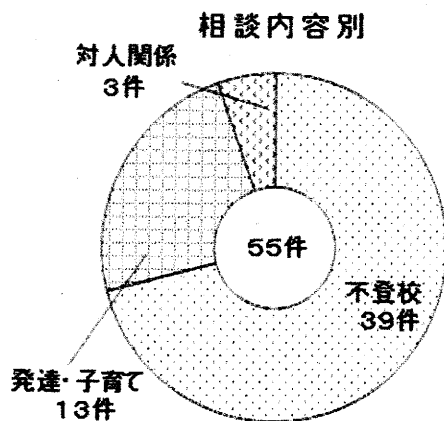
	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
1月	0	6	0	0	1	0	7
2月	0	1	0	0	1	0	2
3月	0	0	0	0	0	0	0

2 相談対象者別

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
1月	0	4	3	0	0	0	7
2月	0	1	1	0	0	0	2
3月	0	0	0	0	0	0	0

3 今年度の新規相談受付状況

受付件数 55件 （前年同期 61件）



4 1・2・3月の相談件数（新規及び継続）

対象	性別	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	計
幼児	男							0
	女							0
小学生	男		7	1				8
	女		6	1		2		9
中学生	男		12	2				14
	女		19					19
高校生	男		1					1
	女		1					1
少年	男					1		1
	女							0
一般成人	男					1		1
	女							0
計	男	0	20	3	0	2	0	25
	女	0	26	1	0	2	0	29
男女合計		0	46	4	0	4	0	54

5 1・2・3月の相談回数（54件の相談延べ回数）

月	性別	面接	訪問	その他	合計
1・2・3月	男	138	1	2	141
	女	163	1	5	169
	計	301	2	7	310

6 相談指導学級の様子

昨年度は、16名（内1名は途中学校復帰）の小中学生が通級しました。自ら課題を設定した自主的学習、そして、読書、手芸、絵画やパズルなどの多彩な創作活動、さらに、集団ゲームなどによるコミュニケーション力を高める活動、毎週1回実施したスポーツ等々、個人差はあるものの積極的に取り組むことができました。また、毎週木曜日に実施した体験活動（社会体験・自然体験・職業体験・進路体験・学習体験・福祉体験）では、集団の一員としての自覚が生まれ、確かな成長が見られました。



3学期から学校復帰した児童をはじめ、学校で定期テストを受けることができた児童・生徒、自分の判断で始業式や終業式、修了式、卒業式に参加できた児童・生徒、週1回定期的に登校できた生徒、学校の相談室まで行くことができた児童・生徒に拍手を送りたい気持ちです。

一方、本通級生の中学3年生2名が進学を決めたことは、下級生に「自分も目標をしっかりと持って努力したい」という希望や意欲を持たせました。これは、異年齢の小集団が持つよさが作用したといえそうです。この1年、様々な経験が自信やエネルギーとなって、さらなる学びにつながり、意義ある学級になったように思われます。

本年度も保護者の皆様や学校の先生方と連携し、通級する児童・生徒の成長を願って支援してまいります。皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

電話相談



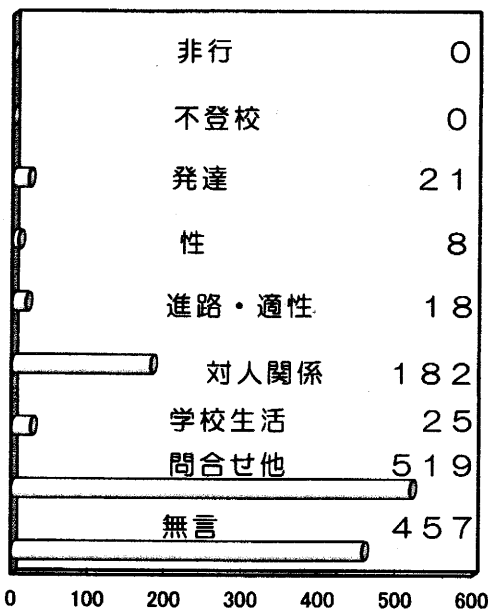
◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。
 ◎相談時間：午前10時～午後7時
 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎愛称：やまびこ電話 951-7330

平成28年1・2・3月の状況

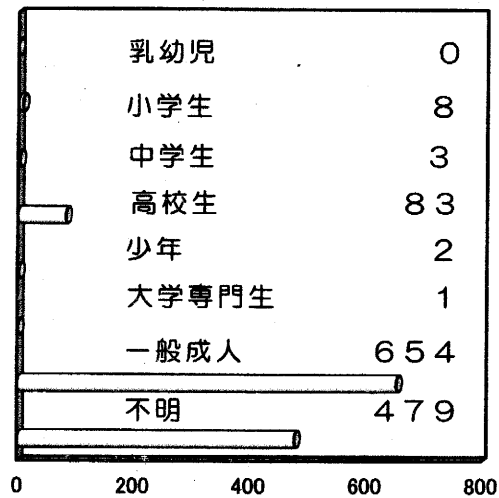
1月には349件、2月には406件、3月には475件の相談が寄せられました。（前年1月：153件、前年2月：151件、前年3月：222件）

1 1・2・3月の相談状況

相談内容別件数

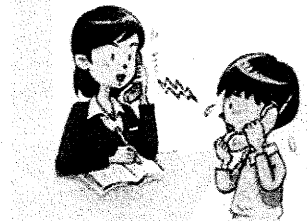


相談対象者別件数



2 今年度の電話相談受信件数状況(平成27年度)

総件数 3,850件（前年同期 2,173件）



(1) 相談内容別

内容	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言
件数	2	12	66	50	39	566	80	1,352	1,683

(2) 相談対象者別

内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	2	38	18	221	4	4	1,739	1,824



補導活動

母親補導委員 高島明美

私が母親補導活動に携わらせていただいてから丸4年が経ちました。活動中には、色々な学生たちを見かけました。

みなさんは、補導活動にどのような印象をお持ちでしょうか？

「補導」と聞くと、「素行が悪い」「不良行為」「飲酒・喫煙」「万引き」と、マイナスのイメージがある様に思います。補導活動は、たぶん学生たちからしたら目の上のたん瘤。放課後の、学生時代だったら1番楽しいひとときに、補導腕章を付けた一行に遭遇したら、目を合わせず通り過ぎたくなると思います。補導活動は、学生たちにとっては取り締まられるイメージがあると思いますが、実はその逆の目的を有しています。

それは「守られる」。補導腕章装着の一行が活動することにより、学生たち自身が守られているという事。「みなさんの通学路周辺には大人の目がありますよ」という認識を印象付ける事により、学生たちだけでなく、児童や小さいお子さん方、時には大人の方を含めた地域全体までもが、守られているといえます。そして、自身の行動にブレーキをかけたり、見直したりと、行為をも事前に正しているといえそうです。

私は、補導活動中に見かけた学生たちに挨拶をする様に心がけています。すると必ず、同じ様に挨拶が返って来ます。挨拶後は「気を付けて帰ってね」「はい」と笑顔での受け答え。学生たちから、こちらが温かい気持ちをいただいています。

私は、地域の安全と共にそんな素直な学生たちが増えてくれることを願って補導活動を続けています。



1 少年補導委員の延べ参加人数（1月～3月）

	市職員	教員	女性 補導委員	母親 補導委員	地区代表 補導委員	警察	地区 補導委員	総数
1月	9	18	4	4	12	0	249	296
2月	9	13	9	2	5	1	213	252
3月	6	6	0	3	9	0	262	286

2 補導回数・補導状況（1月～3月）

	補 導 回 数				声かけ 注意・指導	事 後 指 導	
	午前	午後	夜間	計		学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
1月	3	10	44	57	57	0	0
2月	3	9	29	41	136	0	0
3月	0	7	34	41	122	0	0

3 補導活動（平成27年度4月からの累計）

補 導 回 数	延べ 参加補導委員数	声かけ 注意・指導	事 後 指 導	
			学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
520	3830	1235	0	0

4 平成28年1月・2月・3月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

平成27年度の補導活動へのご協力ありがとうございました。26年度は、夏休みや冬休みの時期にBivv内や周辺で指導や声かけを多く行いました。今年度は、ゲームセンターへの入場は依然として多いものの、周辺でたむろする少年の姿はほとんど見られなくなりました。平成28年度も引き続きご協力をよろしく願いいたします。

区分	学職別		小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	累四月からの計
	性別									
飲	酒	男								
		女								
喫	煙	男		1					1	2
		女								1
夜間はいかい		男			1				1	81
		女			1				1	72
不良交友		男								
		女								
怠学・怠業		男								
		女								
ゲームセンター入場		男	8	9	99				116	398
		女	4	3	52				59	183
パチンコ店入場		男								
		女								
カラオケ店入場		男								
		女								
自転車の暴走行為		男								5
		女								
自転車の二人乗り		男		4	2		1		7	9
		女			3				3	6
自転車の無灯火		男			2				2	31
		女								4
危険な遊び		男		5		7			12	27
		女								12
その他		男	11	16	36		2		65	229
		女	12	5	31				48	175
計		男	19	35	140	7	3		204	782
		女	16	8	87				111	453
男女合計			35	43	227	7	3		315	1,235

事後	家庭・学校・職場へ連絡	男							0	0
		女							0	0
指導	他機関へ連絡	男							0	0
		女							0	0
男女合計			0	0	0	0	0	0	0	0

＝ 「快適な目覚め！」を求めて ＝

「快適な目覚め」は、充実した1日を約束してくれます。Part Iでは、睡眠の「量」について述べました。睡眠は、人間にとって1日の肉体的な疲れや脳の機能を回復させるために欠くことのできないものであり、「量」とは、時間的な「長さ」だけでないことを確認しました。Part IIでは、「質」を高めることで、効率的な睡眠をとることができることを述べました。「質」を高めるには、「環境」を整える必要があることを確認しました。



今回は、「睡眠の性質」について、述べたいと思います。「睡眠」には、「浅い眠り（レム睡眠）」と「深い眠り（ノンレム睡眠）」があります。眠りに入ると、まずノンレム睡眠に入り、続いてレム睡眠に移行していきます。睡眠中は、この深い眠りと浅い眠りが90分を1サイクルとして繰り返されます。ノンレム睡眠は、脳が休んでいる状態で、眠りが深まるにつれ、体温が低下し、呼吸数や心拍数も減っていきます。長時間この状態が続くと生命が危険にさらされます。この時、危険を回避するために生命維持機能が動き、脳を起きた状態に戻します。それが、レム睡眠です。人間が身体的な疲れを癒し、機能を回復するには、ノンレム睡眠とレム睡眠の1サイクルを4回程度要するといわれています。

そして、サイクルを重ねるごとに、ノンレム睡眠の深さも浅くなり、起き出す準備に入ります。疲れが取れ、機能が回復すると、レム睡眠が続くようになります。レム睡眠は眠りが浅いため、この状態で「目覚める」と、すっきり起きることができます。したがって、起きる時刻から逆算して、就寝することが快適な目覚めを保障する1つの手段だといえます。

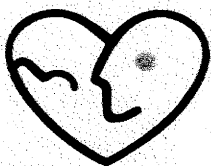
センターの活動予定 (5・6・7月の主な活動予定)

日 程	補導関係	日 程	相談指導学級
5月23日(月)	第1回補導委員会代表者会	5月12日(木)	農園体験
5月25日(水)	新任補導委員研修 [~27]	5月19日(木)	創作活動
6月24日(金)	補導委員会感謝状贈呈式	5月26日(木)	調理
7月 4日(月)	非行・被害防止キャンペーン	6月 2日(木)	ハイキング
7月11日(月)	県内一斉夏季補導	6月 9日(木)	創作活動
7月15日(金)	第2回補導委員会代表者会	6月16日(木)	調理
7月30日(土)	夏まつり特別補導 [~31]	6月23日(木)	高校見学
		6月30日(木)	農園体験

天候等の諸事情により変更することがあります。

明るい子どもが育つまち

青少年健全育成
シンボルマーク



青少年健全育成都市宣言 (昭和55年)

あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪

青少年を、優しく温かい心で包み込むという思いから、右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート(心)を表しています。